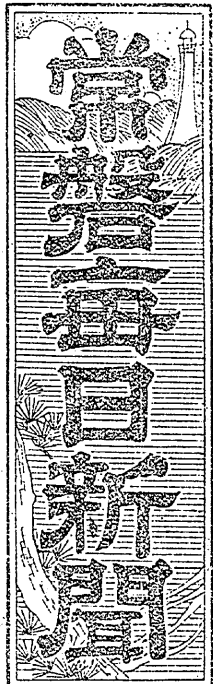


刊夕日二十月二十



定価一部... 宗正毎日新聞社

不可解な事實

鎌田 雅彌

Zと言ふ男とレスタール
ントで飲んだのは、彼が
僕に劣らぬ情熱や戀愛を感
じてゐる男なら、決して其
は差支え無かつたのである
彼女に彼に執つては第三
者にさり過ぎぬ。彼女と卓
を共にした事に就ては些の
感情も留めねば、何等の
メンバランスも將又センセ
イジョンキインスピレイシ
オンとも得無かつた彼なの
である。

其が余り勿体無さ過ぎる
と言ふ次第なのだ。
もし其が僕と果された其
だつたら、其のZと彼女が
逢つた時間を僕に替へられ
たと言ふだけの一事で、何
れ程其の時間が貴重化され
價值付けられたか知れぬ。
其を思ふと僕は情無くなる
程、口惜しくつてならない
そして、こんな現象を結
果付けた支配者の無理解土
程度が惟量しきれないのだ
もし僕と彼女が會談の時
間を其の機會に擱んでゐた
ら「果して僕は彼女を倭拒
し終へ得るか」に留めた以
上の傑作を成就し、其に依
つて幾許の強烈な情熱や感
喜に酔ひ得たか知れ無かつ
た。そして藝術的ないかに

偉大な業績が人間史上に書
かる可き結果に終つたか知
れまいと思ふと、堪えきれ
ず世界人類的に痛惜される
恨事だ。此何故に僕の戀愛
が片思ひであつた理由で瞭
らさまに氷解され得る事實
とは言へ解らない事だ。終
生僕には解釋しきれぬ事
だ。(完)

綴り方

朝

平第一校高一

寺門友己

冷えて居る空氣が、恰度
吸取紙がインキヲ吸収して
行くやうに、私の體のぬく
みを取つていつた。だんだ
ん冷たくなつて行く。今朝
は自分ながら氣にするくら
ゐ早く起きて終つた。もし
てまだ明けはなれて居ない
東の空は紫が、つた黒色の
雲が、畫筆でたつぷりと色
をつけて横に長くひつぱつ
たやうに、棚びいてその間
々に黄色の空がのぞいてゐ
る。だが月と星とは弱い光
をなげながらも消えずに居
る。月はみがきをかけた鏡
よりもまだ澄んで居て、四
方に散在する星に君臨する
やうに照つて居る様は一層
寒さをおぼえさせる。だが
氣持がよい。

美味!
芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

安價—榮養—手輕

料理講習會

講習種目 正月の料理
豆腐料理 會場 平陽女學校
牛豚料理 會費 八十錢二日間材料代共
玉子料理 講師 阿美八郎氏
魚肉料理 主催 家庭榮養料理研究會
野菜料理 支那料理 後援 平婦人會
ソースの拵方 平女子青年團
西洋菓子

ハシモトヤのサービスデー

毛糸編物講習會

十二月十三日ヨリ 五日間
十二月十七日マデ
午前九時ヨリ午後三時マデ

會場ハシモトヤ糸店階上
講習料無料
かぎ編、棒編、文化器編、どんな
編物でも自由に御教へ致します。

参考品澤山會場へ陳列致します。
どうぞ遠慮なく御出下さい。

外科

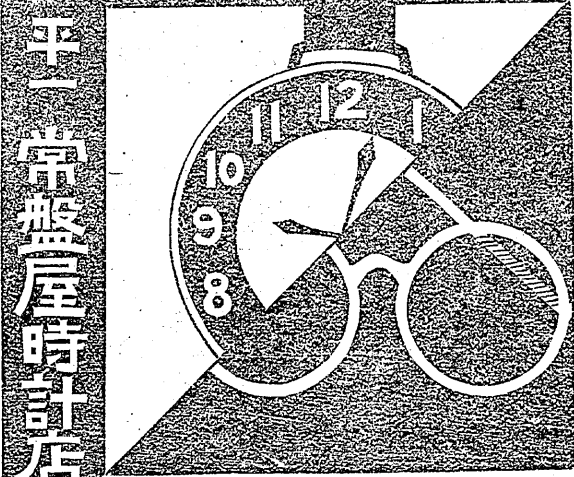
専門線 X
科

上田外科醫院

平町南町
電話二一九番

お客様本位の...

正確な時計



平一常盤屋時計店

好適の眼鏡

回冬衣暴落品新荷着回

着尺モスと本場銘仙

新柄豊富に取揃へました

三井吳服店

電話二八四番

貸切の...

御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ (マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

政變の報は 石城に好反響

既に好景氣來の聲が ちまたに唱へられて

若槻内閣總辭職の報傳は、石城郡地方の政治界初め各方面に重大な衝動を興へ、殊に實業界方面では相當の好反響を齎し既に好景氣の聲が巷に唱へられ後繼内閣の前途に就き重大な關心を拂つてゐるが各炭坑並に小名濱築港に關係する方面では若槻内閣により中止された築港工事を次期内閣に依つて復活すべく既に意氣込んでゐる

救護法に據る

貧困者の調査

平町が區長に通知

佐川一等兵の遺骨歸る

遺骨歸る

既報馬占山攻撃に名譽の戦死を遂げた石城郡小名濱生陸軍一等兵佐川泰男の遺骨は十七日午後四時卅八分仙臺着翌十八日午前中第二師

苦難を 宗教

賀川豊彦氏述

斯うした意味に於て私は宗教が、文明文化を復活せしめる力を持つてゐることを信ずる、いやそれは宗教の力ではない大能の力である。これを疑つてはならない、信仰は靈魂に内在する神の力である、それが迷信

小名濱町では廿日同君の盛大な町葬を行ふ事に町會で決定したと

蒟蒻玉が 意外な高値

石城郡部は不況深刻で倒産者續出の傾向さへある折田人上遠野入遠野各村の特産品として、例年よりも一割以上の高値に農家はホクホクの體である

山田村議改選

山田村議改選は来る廿五日、頗る注目されて居る

農閑期を利用し 煉炭の自家製造

石城地方の農家に流行

石郡地方における農家は農閑期を利用して室内保温用煉炭の自家製造が大流行しているところ、直接炭礦から採炭を共同購入して製造に大童の状態である殊に自家製造の煉炭は經濟上から見ても販賣してゐる煉炭より遙に格安でまた蠶兒にも有害少しくなく保温には百パーセントの成績をおさめるだけに一方擴大な販路を有する煉炭製造業者はこれが

國産品

愛護デー

平町の宣傳

平窪精神修養

石城郡平窪村公民學校生徒六十

力を持つてゐる、即ち肉體的には全治の力となり、心理的には慰めの源となり、道徳的には贖罪の力となるこれを最も力強く経験した人は、大工イエスであつた我々はキリストを昔の人の考へてはならない、彼は愛の權化である、我々は彼の十字架上の死によつて初めて生物界を通して働く、無意識的な愛を意識的に自覺し、人の失敗の尻拭いまで

役場では經濟界不況の折柄協力一致國産品の依用を奨励する様通知を行ふ外ビラ撒ポスター等種々な宣傳を爲す由

日村議の改選をなすが定員十二名に對し十五日ころまでに大体十五名位の候補者が顔を揃へるものと見られ、殊に政黨別は政友が絶對多數を占めてゐるも今回は特選に民政黨から相當新顔が名乗りをあげる模様なので色々の意味から同村の村議改選は頗る注目されてゐる

ため大恐慌を來してゐると
石城の野放馬が
將來有望視さる

石城の野放馬として隣縣茨城栃木へ移出し頗る好評を博してゐる石城産馬は地方特有の野放し飼による健康の優良品種馬で主として農耕馬に適してをり飼料を與ふる必要殆どなく非常に經濟的な飼ひ方であるところから不振の農村救済に好適のものとして殊に川前小川地方山間部でははやくもこれが將來有望視され年々増加の状態にあり本年は郡内を通じて約八萬頭が縣外に移出され疲弊せる農村を少からず奮起してゐる

移轉お知らせ

此度平町田町七十五番地(元平町役場跡)に移轉致しました。従來の通り一般の診療に従事致します。右お知らせまで。

平町田町七十五番地
昭和六年十一月廿九日

清水醫院

醫學士 清水廣政
電話 二三八番

歸平

平映畫界

▲平 館「美人哀愁」岡田時彦、井上雪子主演後篇「しかも彼等は行く」梅村蓉子主演「夜明し新助捕物帳」光岡龍三郎主演
▲世界館「旗本六法組」柳龍太郎原駒子主演「水戸黄門」松本大輔、望月禮子主演「傷つける人形」鈴木京子主演「若林大尉事件映寫」

平町人事

△元縣議小野善平氏 十日午後七時着列車にて來平
△縣議野崎滿藏氏 本日本午前十時着列車で福島から

△仲間町六五 赤津榮藏氏 長男健
△仲間町六五 赤津榮藏氏 (三〇)茨城縣多賀郡磯原町字磯原矢代(二二三)

平第一校 平第一小學校
兒童貯金 小學校貯金は不況時にも拘らず一千四百名の兒童中それに加へないものは二十數人に

平町の地價は 好況時の四分の一

最近取引された ガタ落ちの實例

不景氣の迫害に疲弊し切つた平町は一時は土一升金一升と迄に唱へられた地價の如きガタ落ちに落ちて

好況時代の半値處か三分の一或いは四分の一の暴落を示して居る最近の取引例に依ると鍛冶町中野えん所有の十五丁目平署裏水田二筆五百四十九坪が破産

一番多いのは 平役場の七百三本

平役場が取扱つた 満洲兵への慰問品

平町青年團其他公共團體にて募集した満洲兵の慰問金は昨報の如くであるが町役場が直接取扱つた慰問品は本日内譯をなし陸軍當局へ夫々發送する事になつた其内最も多敷のは揮の七百三本で次ぎは繻帶の六百四十本、慰問袋の百二箇、手拭百卅三本の外手袋が四十五組、五十箇入煙草二箱、胴巻十枚等で此の外青年團扱ひにて區長の手許に保管されてあるのを合すると莫大な慰問品に達するであらうと

石城郡出 身在満洲 慰問金

十二日現在

- 南町坂 (四圓五十錢) 菊地裁縫部 (貳圓) 磐城無盡商會 (壹圓) 川井重次 川井安子 大和田郡司 清野キヨ 大嶺庫 山田 女一 多氣八重 松田卯次郎 松村鐵郎 織田豊太郎 鈴木治郎 上田壽

高久映畫純益 石城郡高久村青年團では滿洲出

- 若松篤吉 諸橋敬一郎 鈴木留五郎 藤澤龜松 松崎博 高野仁平 馬目誠 大槻宇八 上野忠康 村上則裕 山崎元三郎 (五十錢) 増子元齋藤ツキ 龜山晴次 大森勇 山田磐磨 近藤メ 橋本喜七 佐藤榮治 郎 菊地一 小松茂 鈴木五郎 佐藤サツ 水津宗次郎 伊藤彌吉 酒井ミツ 小野信一郎 小林美豊 齋藤船治 太宗信 披 高木ムメ 芹澤鎮江 田中敬吉 芹澤政忠 沼田仙太郎 上田正隆 鈴木喜一郎 野村忠吉 青木利夫 野内良男 岡田伊太郎 鈴木彌太郎 小池猪之助 河田梅吉 難波陸 馬目雄次郎 兒山達二 石山降雄 西丸熊吉 石和田由太郎 鈴木留四郎 吉村英兒 橋本長三郎 齊藤房野 鈴木祐孝 大徳四郎 岡山克己 安藤市三郎 關口福 藤林寅之助 青山藏之助 鈴木タケ 佐川芳太郎 上久保ウメ 齊藤市太郎 織田榮三郎 織田安次郎 中野雅子 齊藤鐵四郎 木部ナツ 大和田與平 根本キン 星恒代 佐川辰次郎 古川無比雄 田中常次 中村フク 鈴木ミツ 井坂辰之助 橋本義司 小野長吉 伊藤兼吉 小野寺軍平 上野清 坂本兼治郎 山野邊陽 藤井一 荒木喜太郎 吉田五平 武田精一 吉田義雄 西牧與

八小口組 人見謙藏

- 三丁目追加 (五圓) 柏原幸次郎 久野ヒツ (壹圓) 鈴木義忠 (五十錢) 引地音次郎 長谷川豊吉 (三十錢) 加藤元之助 高倉精一

平町役場へ 熱情續々と

平商業學校生徒一同より滿洲軍慰問金として九圓七十錢、神山コマ氏より十圓一錢、鎌田町金成國雅氏より石ケン三ヶ、眞綿廿枚、輝十五枚、メリヤス一枚、南町十三區より九十六圓六十五錢、材木町十一區より四十二圓五十錢、五丁目九區では卅五圓七十錢、田町四區では百十八圓七十六錢をそれら、町役場へ寄託した

安價 臺所合理化に 料理の講習會

平婦人會及び平女子青年團後援で来る十四五の兩日平陽女學校に定座營養料理研究會が開かれる講師は阿美八郎氏であるが料理は何れも安價で營養をモットーとし然も手軽に出来る處に臺所合理化の理想境があり就中正月の珍奇にして美味な料理法等正月を迎える主婦の用意としても是非知つて置かなければならないものであると因に會費は二日間を通じ材料代共に八十錢で

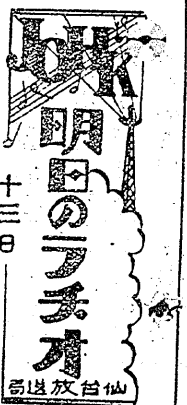
會場は平陽女學校
来る十四五の兩日

出席者はノートと小皿を御用意ありたいといふ

銅線ドロ

磐崎で取押ふ

石城郡磐崎村字長倉小野田炭礦元電工権名水一(三)は七日夜同村湯屋小野田變電所倉庫よりケーブル銅線四十尺を窃取せる事發覺目下平署で取調中であるが同人は昨年十月以來廿數回に渡り時價七百圓に達する銅線を各地で窃取したと



今晚の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) 獨唱と齊唱 福島市第二小學校 福島縣梁川小學校 全飯坂小學校各児童
- 後七、三〇 時事講座「滿洲軍變の推移」參謀本部附陸軍少將 建川美次
- 後八、〇〇 薩摩琵琶新曲「扇の的」永藤錦種
- 後八、三〇 ヴァイオリン (チェコスロヴァキア) アレキサンダーモ

明日の部

- 前九、〇〇 國際放送「マリン」無線通信大西洋聯絡三十年記念祝賀放送「ABC中繼」
- 前九、一〇 營養料理「錦ヒラメ」營養研究所

赤行囊一千圓紛失

平局狼狽して調査の結果 發局の手落ちと判明

去る九日双葉郡新山局發平局宛に遞送した赤行囊三個の中一千圓入りの一個が紛失した怪事件が起り時節柄注目され秘密裡に調査中の處發局の手落ちから遞送しなかつたと判明した

失業して……

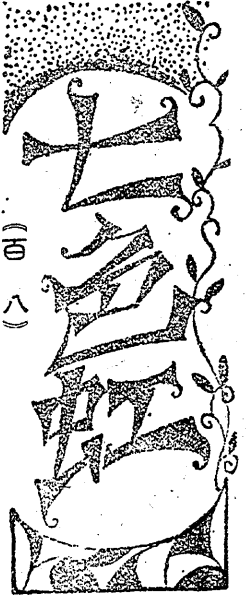
窃盜を働く

石城郡内郷村字廣畑生れ山後初太郎(四)は十日午後六時頃同村内遠藤作四郎の建築作業場にあつた時價五圓餘の材木を窃取せんとし發覺平署の取調を受けたが同人は最近坑夫を失業したので村内各地で數件のコン泥を働いて居たものである

平職業紹介所便り

- 求人部
 - 豆腐賣子 廿才乃至卅才 給賣上の三割 尋卒以上 (平) 窪村
 - 雜夫五六名 四十才以下 日六十錢位 (小名濱町請負)
- 求職の部
 - 商店雜役 十八才 高一 修住込月五圓位 (一丁目)
 - 雜夫 卅六才 尋卒 (平町)

小説



渡邊默禪作
布施平八郎畫

【載轉禁】

我が子歸る (5)

夫れにあのお秀の方は、まア奥さんかナ二人でもつて馴合つて乗取の魂膽をやつてゐるのだと俺は睨んでゐるが、そこへ持つて来て昨日ぢやアだしぬけに執達吏が二人も舞込を来てあの二千何百点てえお家の品へびた／＼としるしを帖つて差押へる始末だ、旦那はすつかり逆上して卒倒なさる上を下への大騒ぎさ、可哀想にお嬢さんはお一人で……。

これの通り今度と言ふ今度こそは全く俺は相濟まない事をした、木村、木村、この通りだ。」
片手を壁に突いた儘首を下げて而して全く改心したものをらしくいとも静かに……。

「いや、それどころぢやない。手をあげてくれ、擧げてくれ。實際の話は木村、俺の心に悪魔が食ひ入つたのだ。店の方も關係會社の方も、自分の不届からすつかり亂脈になつちまつて負債が殖える。欠損が續くどうすることも出来なくなつたもんだから、その心配を忘れるために遊び出したのが實はもと／＼初まりの病付きで、とう／＼深入りして了つたのだ。つまり自暴さ、その自暴つて奴が自分を滅ぼす悪魔です、ね、既でのところその悪魔のために命まで奪られか、つたのだが。」

「命をどうしたんで。」
「神まだ我を捨てずさ。或る婦人のために救ひ出されて、やつとのことに横濱から歸つて来たやうな譯だ。その婦人とは誰れでもないお前の知つて居る女だ。」



「と、飛んでもねえ。私があやまられる理窟はない。その首の持つてきどころが違ふよ。若旦那、下げるな。大旦那の前でお下げなさいまし。したがお前さん眞實そんな意見になすつたのかい。口先だけのお體裁で私を欺しちや厭だ。今

く聞入れて下すつて、訛をするまで仰しやるとは、まア何んてえ有誰てえこのでせう。若旦那、飛んだ失禮を申上げました。濟まぬい、今度は俺の方から眞平御免なすつて……。」
今度は清平が手を突いて訛をした。

大塚の
學生服!!!

耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……。
大塚支製靴部
電話七七番

着祝おの三五七

に方様子おいしら愛可
々等ルーヨシ、子帽、トンマ、パーオ、服洋
〇四一電 ヤ ル ツ 四平

父高岡唯一郎儀 豫て病氣療養中の處藥石効なく十二月九日午後十時死去仕候間此段生前辱知諸君に謹告候也
追て葬送の儀は來る十二月十四日午後一時自宅に於て佛式相營申候
昭和六年十二月十日
福島縣石城郡草野村

親戚總代 男 井國三
友人總代 文 酒山 伊松 犬堀 八石 木山 安白 金
井國三 藤淺之 本孫右衛門 切善養 田文宗 射村清 島崎重三 井成博
夫平助門毅衛吉郎治郎郎之通

磐城セメント會社特約店
久全屋道具店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

専門 内科一般
川井内科診療所
電話一八一番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子
宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

印刷物の御用命は總て
常磐日報印刷株式會社
電話三六〇番

井の
手切商品
番八三四 電三二